

部局名

農学部 フィールド科学教育研究センター（住吉）

担当：小林 郁雄



テーマ

住吉フィールド(牧場)



附属牧場の目的は、教育・研究・社会貢献・生産活動です。全国教育拠点に認定されており、国内外の学生・関係者に広く利用されています。

重労働のイメージがある畜産も、工学部の先端技術を応用すれば省力化は可能です。家畜の異常を自動検出して、遠く離れた携帯まで情報を送る仕組みや、各種作業の自動ロボット開発が急速に進行中で、企業や他大学との共同研究も多数実施しています。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fsce/post-7.html>



草地に放牧される黒毛和種牛の親子

全国初のGLOBALG.A.P. 認証（食と農の安全を守る国際認証）牧場として、衛生管理、労働安全、環境保全や動物福祉等に配慮しながら、教育研究活動を実施しています。



豚の放牧風景

飼養形態の違いが、家畜の生産性や品質にどのような影響を与えるのか、また、それらの情報をいかにして省力的に収集・管理していくかを調べています。



宮崎大学農学部のみならず、国内外他大学の学生・教職員、社会人の卒業後教育など、毎年5000人程度の利用がある全国最大級の大学附属牧場施設です。